

常任委員会の動き

第1 常任委員会

《平成24年4月18日開催》報告及び審議事項

【地域振興部】

- 市民満足度アンケートについて
- 留萌市安心情報メールマガジン配信状況について
- お茶の間トーク2012～2013出前メニューについて
- 地域おこし協力隊の状況について
- 留萌市地域公共交通の実施状況について
- 第5回町内会活動情報交換会について
- 留萌マルシェのオープン、観光施設のオープン等について
- 平成24年度のイベント情報について

【総務部】

- 留萌市職員の外部団体口座からの着服に伴う懲戒処分について
- 庁内各部署の配置について
- 平成24年度市税徴収の運営方針について

【都市環境部】

- 見晴39号通り地すべり対策工事の完了について
- 道路整備5カ年計画の概要及び平成24年度事業箇所について
- 市営墓地の募集、木製クリーンステーション整備等について
- 小型電子・電気機器回収事業試行の実施状況について
- 専決処分（損害賠償）の報告について

《平成24年5月25日開催》報告及び審議事項

【総務部】

- 団体事務等に係る事故再発防止に向けたマニュアルについて
- 平成23年度留萌市土地開発公社決算及び平成24年度事業計画について
- 専決処分（留萌市税・都市計画税及び国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定）について
- 平成24年度留萌市一般会計補正予算（第1号）

【地域振興部】

- 「若者たちが萌えるまち」留萌市応援寄付について
- 平成24年度菜の花プロジェクトについて
- 留萌観光感動事業の進捗状況について
- オートキャンプフェスティバルin るもい2012の開催について
- 留萌港開発株式会社の平成23年度決算に関する書類及び平成24年度事業計画について

○留萌市住宅改修促進条例の一部を改正する条例について

【都市環境部】

- 環境美化パートナー制度の今年度の取組みについて
- 専決処分（損害賠償）の報告について
- 留萌市営墓地条例・下水道条例の一部改正の条例制定について

第2 常任委員会

《平成24年3月28日開催》報告及び審議事項

【市民生活部】

- 小型電子・電気機器回収事業試行期間の延長について

《平成24年4月24日開催》報告及び審議事項

【市民健康部】

- 留萌市障がい福祉計画策定委員会開催状況について
- 留萌市介護保険運営協議会開催状況について
- 介護保険給付金請求事件について

【教育委員会】

- 平成23年度フッ化物洗口実施結果について
- 平成23年度学力学習状況調査結果及び平成24年度実施状況について
- 平成24年度小中学校児童・生徒数、学級数等について
- 留萌小学校改築基本構想について
- 平成23年度留萌管内教育実践表彰について
- 平成23年度児童相談等の状況について
- 平成24年度保育園の入所状況について
- 児童手当（旧こども手当）について

【市立病院】

- 平成24年度診療体制について
- 東雲診療所の外来診療の拡充について
- 平成23年度患者集計表について

《平成24年5月24日開催》報告及び審議事項

【市民健康部】

- 留萌市手数料条例等の一部を改正する条例制定について
- 平成24年度補正予算（案）について
- 国民健康保険 特定健診最終年度の目標達成に向けた取り組みについて

【教育委員会】

- 新学習指導要領に基づく保健体育必修科目の取り入れ実態について
- 児童・生徒の問題行動について
- 「宇宙の学校」特別講演、体験教室について
- あかしあ大学の概要について

【市立病院】

- 平成23年度病院事業会計決算（案）の概要について
- 平成24年度患者集計表（4月分）について
- 留萌市看護師等就学資金貸付状況について

【教育委員会】

- 留萌小学校建設計画の進捗状況について

【教育委員会】

- 留萌小学校改築計画書の事業費及び財源内訳等の変更について

《平成24年6月12日開催》報告及び審議事項

【市民健康部】

- 介護保険給付金請求事件について
- 平成24年度保健事業計画について

【教育委員会】

- 留萌小学校校舎・屋体改築事業計画書（概算）見直し後について

議会です こんにちは

平成24年第2回定例会（6月5日から6月13日）で可決されました諮問1件、報告9件、議案6件、意見書8件の内容を紹介いたします。

諮 問

- 第1号 人権擁護委員の推薦について

報 告

- 第6号 留萌市土地開発公社の平成23年度決算に関する書類及び平成24年度事業計画に関する書類の提出について
- 第7号 留萌港開発株式会社の平成23年度決算に関する書類及び平成24年度事業計画に関する書類の提出について
- 第8号 平成23年度留萌市繰越明許費繰越計算書について
- 第9号 専決処分の報告について（損害賠償について）
- 第10号 専決処分の報告について（損害賠償について）
- 第11号 専決処分の報告について（損害賠償について）
- 第12号 専決処分の報告について（留萌市税条例の一部を改正する条例制定について）
- 第13号 専決処分の報告について（留萌市都市計画税条例の一部を改正する条例制定について）
- 第14号 専決処分の報告について（留萌市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について）

議 案

- 第44号 平成24年度留萌市一般会計補正予算（第1号）

もくじ

- P10 平成24年度第2回定例会議決事項
- P11 常任委員会の動き
- P12～13 特集 議会活性化の取り組み
- P14～16 第2回定例会一般質問項目
- P17 議会活性化委員会からの報告ほか

- 第45号 平成24年度留萌市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- 第46号 留萌市手数料条例等の一部を改正する条例制定について
- 第47号 留萌市固定資産評価員の選任について
- 第48号 留萌市教育委員会委員の任命について
- 第49号 留萌市議会会議規則の一部を改正する規則制定について

意 見 書

- 第6号 基地対策予算の増額等を求める意見書
- 第7号 義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」の実現をめざす教職員定数改善、就学保障充実など2013年度国家予算編成における教育予算確保・拡充に向けた意見書
- 第8号 道教委『新たな高校教育に関する指針』の見直しと地域や子どもの実態に応じた高校づくりの実現を求める意見書
- 第9号 けいれん性発声障害（SD）の研究・治療等の推進を求める意見書
- 第10号 地方財政の充実・強化を求める意見書
- 第11号 北海道地域最低賃金の大幅な改善を求める意見書
- 第12号 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- 第13号 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書

- 毎月配布されている広報もいに年4回議会広報が掲載されているのはご存じですか？
- 市内6か所の施設にお知らせ掲示板を設置したことはご存じですか？
- 6月定例会の内容をFMもえるで6月11～12日に試験放送したことはご存じですか？
- 試験放送の内容が6月17日に再放送されますが聴く予定はありますか？
- 市役所庁舎内で放映されている議会中継をご覧になったことはありますか？
- 留萌市議会のホームページをご覧になったことはありますか？
- 議会を傍聴したことはありますか？
- 今後議会を傍聴したいと思いますか？

はい 106人	いいえ 39人
はい 32人	いいえ 113人
はい 31人	いいえ 114人
はい 58人	いいえ 87人
はい 14人	いいえ 131人
はい 36人	いいえ 109人
はい 24人	いいえ 121人
はい 87人	いいえ 58人

市議会と市民の距離を縮めるために「FMもえる」での試験放送」やお知らせ掲示板などが、その第一歩として行われました。

しかし今回のアンケート調査ではこの新しい二つの試みを「知っている」と答えた方々の数が少なく市民のみなさまに対して周知不足であることがわかりました。

またこれまで議会を傍聴したことはないがこれからは傍聴したいと思う人が多くいらつしやることもわかり、議員がもつと街に出て皆様の声を聴く機会が必要だと思えました。市議会は今、変わろうとしています。議会広報もより多くの市民の皆様へ読んでいただける紙面づくりをし、議会と市民のみなさまの懸け橋となるよう真摯に取り組んでまいります。

一人の一步よりみんなの一步の気持ちを持って皆様と一歩ずつ改革をとに進めていきたいと思えます。

今回アンケート調査にご協力いただいた多くの市民のみなさまに感謝申し上げます。

FMもえるの議会中継を聴いて

川崎 正 紀

今回のFMラジオを使って広く我々市民が市議会の様子を聞くことができたことは、議会の情報公開という部分で画期的なものであります。前回市議選前に有志団体が歳費削減を盛り込んだ定数削減を呼びかけ、署名された方々も多かったのではないうでしょうか？ 一般市民にとつてみては、市議員などにをしているかわからない。留萌に十六名も必要なのか。選挙の時に挨拶に来ないなど市議会軽視論などもよく聴くことがあります。市議会に傍聴に来てほしいと訴えてもそう簡単にはいかないはず。市民みんなが市議員の必要性和、議会の内容を知って関心をもってほしいと思えます。もちろん情報は発信する側と受信する側の需要と供給のバランスがあつてこそ。いくら情報を発信しても受け側である市民が関心も興味もなくただ放送で流すだけでは情報公開にはならない。市民が関心を持つていける放送と内容のある市議会になることを願います。

- 設置場所**
- るもいプラザ
 - 健康の駅
 - 図書館
 - は一とふる
 - 市立病院
 - 公民館



お知らせボード

留萌市議会は、三月に開催した第一回定例会より議会活性化の取り組みの一つとして留萌市内の公共施設など六カ所に「留萌市議会からのお知らせ」を掲示したコルクボードを設置しました。

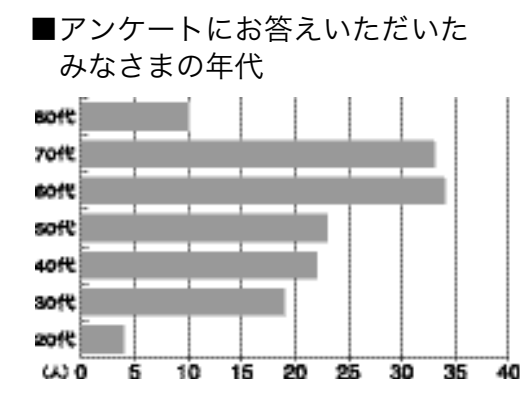
アンケートの結果からわかるように、この取り組みが市民の皆様へ浸透していない事がわかりました。今回の結果を踏まえ、設置場所を考え直し「開かれた議会」の実現に向け、出来る事から始めてまいります。

特集 議会活性化の取り組み

広報特別委員会では、市民の皆様へまちなかアンケートを行い、145名の方にご協力いただきました。議会改革は確実に市民の皆様のもとに届いているのか、そしてこの取り組みの先には市民の皆様と議会がマチを変えていく原動力になりえるのかさまざま声を聴かせていただきました。

まちなかアンケート調査より

■アンケートの調査対象
 調査対象／20代から80代
 調査日／6月15日
 調査場所／るもいプラザ、セブンイレブン合同庁舎前店、チューオー本店、ホームマック留萌店



- まちなかの声**
- 日中なので議会を傍聴できない (30代・女性)
 - 議場で何を話しているのかわからないのでつまらない (50代・女性)
 - 議場までの階段を上がるのが辛くて傍聴に行けない (50代・女性)
 - 税金や医療介護についての質問内容だらけひ放送を聴きたい (50代・女性)
 - お知らせ掲示板の場所がわかりづらい (60代・男性)
 - 夜はエフエムもえるを聴いていない (30代・男性)
 - 日曜日は出かけるので再放送を聴けない (50代・女性)

議会が変われば、マチが変わります。留萌市議会では、市民に見える議会を目指しFMもえるで議会中継を行うなど新しい試みをはじめています。今、十六人の議員と議会事務局が一丸となり「情報共有」「市民参加」「協働」の原則に基づき議会を変えようとしています。

また議会の中で興味のある議案のときは傍聴したい、放送を聴きたいという多くの市民の方の声を聴き益々広報の必要性を感じました。



今回、買物帰りの方達や通中の方達にアンケートに答えて頂きました。皆様から質問以外に沢山の意見や要望を頂きました。

例えば、FMもえるを普段聴いていないですか、お知らせ掲示板の場所についての意見、市民の皆様が傍聴したくてもできない理由、市役所庁舎内の議会中継の認知度など市民の皆様を知っていたら多くの事の実感しました。

議会ホームページリニューアル!

議会をみなさんに理解していただくために議会のホームページを見やすく作り直しました。

- 議会のしくみ
- 会議の案内
- 会議録
- 議員報酬等
- 議会広報
- 議会事務局
- お知らせ
- 用語解説

各議員につきましては、議席順に、住所、当選回数、生年月日、党派、ホームページや所属委員会等を紹介しております。今後も、留萌市議会は議長、副議長を中心に議会の改革に向けた取り組みを発信し、ホームページの内容の充実を図ってまいります。

是非インターネットで留萌市議会と検索してください



平成24年 第2回定例会 一般質問と答弁を ご紹介いたします

村山ゆかり 議員
(萌芽クラブ)

問一 森林機能の多様化と課題

留萌市森林整備計画が四月に策定されたが、具体的事業方針を聞きたい。

留萌市立病院周辺市有地で植樹による環境整備ができないか。

三泊地区の粉じん問題がクローズアップされている。砂や粉じんの飛散防止に効果がある植樹はできないか。

北海道水資源の保全に関する条例が施行されたが、市としての対応を聞きたい。

答一 地球温暖化防止に貢献する森林整備を一層推進するための路網整備や人材育成、適切な伐採・間伐の施策が肝要であり森林組合と連携し推進したい。



除伐作業

三泊地区のマイナスイオンメートル岸壁では、石炭の輸用量が増加している。状況を精査し防風柵がよいか防風林がよいかなど、防風対策を協議したい。

ともに新たな組織の確立をめざし、積極的に行動する必要があると思うが如何か。

答一 現在ある地域連携型農業生産法人が営農の維持が出来るよう、効率的な農地の利用集積を図る。

また、関係団体と連携して、新たな農業生産法人や農作業受託組織の設立など、地域農業の生産体制の拡充に努める。



幌糠の田植風景

問二 国民健康保険税と医療費支払いの減額免除制度の周知を徹底することについて

国民健康保険制度には、所得が低くても安心して病院にかかることが出来るよう、税と医療費支払いに減免制度が設けられている。しかし加入者への周知が徹底していないため医療費の減免制度利用に

えている。地下構造や植樹費用、木の特性などを総体的に検証し植樹の可能性を探りたい。



三泊地区のマイナスイオンメートル岸壁では、石炭の輸用量が増加している。状況を精査し防風柵がよいか防風林がよいかなど、防風対策を協議したい。

留萌市の水源として、増毛町信砂にある新信砂浄水場と周辺の水資源保全区域指定に向けて、関係部局と検討協議

いたっては開始以来ゼロと、まったく利用されていない。

利用したい人、条件に合う人が気軽に相談できるように、加入者と病院への周知を、分かりやすく、繰り返し徹底すること。病院に張り紙をお願いしては如何か。

答二 国保税の減免制度については、国民健康保険税の納付書を送付する際に、パンフレットを同封してお知らせしている。医療費の減免については、窓口で相談があったときに説明している。

今後は、医療費の減免制度についても資料を同封したりホームページでお知らせするなど周知を図っていききたい。

野呂 照幸 議員
(民主クラブ)

問一 留萌市土地開発公社について

留萌市土地開発公社の目的と、今日の役割に相違がある。過去の同様の質問に対し、公社の整理方針を決定したいとの答弁があったが、今後のあり方についてどのように考えているのか。



旧市立病院跡地

を進め、その後、関係自治体である増毛町と協議をしていく。

問二 男女平等参画のイメージランの見直し

平成十五年に策定された男女平等参画プランが最終年を迎えている。計画目標に対する達成度はどうか。

答二 プラン達成への取り組みとして九十八事業があるが、約九割が概ね達成していると評価している。特に市の政策・方針決定に重要な役割を果たす審議会などにおける女性登用率は、三十・八%。今後も五十%を目標に努力したい。

男女共同参画の精神を柱とした社会を目指し、新しいプラン策定に向けて準備を進めたい。

野崎 良夫 議員
(無党派)

問一 土地の活用計画について

平成八年に策定した留萌港港湾計画により「旧北海道合板跡地」は、親水緑地として

土地が近い将来、市民負担になつていく可能性があるが、公社が現在抱えている課題は何か。

答一 公社の業務は、その公共的重要性にかんがみ事業の実施にあつては、留萌市の施策及び計画に即応すると同時に、常に留萌市との連携を保ち、その公共性及び経済性を重視し、能率的に執行に努めてきたが、最近の地価の下落傾向が続くなかで、公共用地先行取得の経済的有効性が薄れてきた。

今後は、計画を立てながら、解散の方向性を考えたい。

位置付けられており、平成三十年三月三十一日までに「市開発公社」から取得するものとなっているが、取得するまでに「緑地」として具体的な計画を立てるべきと思うが、市長の考え方を伺いたい。

答一 港湾計画にある親水緑地としての整備が基本の考え方だが、現状の港湾施設の老朽化、船場公園、東岸地区など周辺地区との連携を考慮し、親水性の確保、まちなかでの賑わい復活ゾーンの要となる「交流ゾーン」の形成について配慮した土地利用を考えている。



旧北海道合板跡

問二 商店街の再生について
「金市館ビル」については、平成二十二年度から賃貸借契

問一 留萌小学校改築計画について

留萌小学校改築計画の事業費及び財源内訳等の変更について、当初のチェック体制に甘さがあったのではないかと、検証作業が必要だと考えるがどうか。

また、当初示していた事業費と財源が変更になったことによるスケジュールへの影響はあるのか。

答二 補助金についてしっかりとした検討をしなかったという点で深く反省しなければいけない。

留萌小学校改築計画は長い事業であり、今回の件を教訓としながら、関係機関に支援を仰ぎながら対応していききたい。

また、学校関係者、PTAはじめ地域の皆さんにしっかりと説明責任を果たしていきたい。

鵜城 雪子 議員
(萌芽クラブ)

問一 地価下落全国一位について
留萌市内の商業地の土地評価額がマイナス十九・六%と

約を結んでおり、年度毎に株式会社金市館と留萌市との間で、協議しながら単年度契約しているが、金市館ビルの存続について、市民の多くが今後の動向に関心がある。

来年度以降の、金市館ビルの活用について、いつまでに市の方向性を打ち出すのか伺いたい。

答二 現在、入居しているテナント等に「志向調査」を実施し、その結果を基に商店街や商工会議所、市などの関係者で当該施設の継続利用について今後のまちなか賑わいや、交流の場としての活用、福祉団体や高齢者の参画についても、協議を行って行きたい。

今年「九月ないし十二月の議会」において、市の方向性を明らかにしたい。

坂本 茂 議員
(共産党)

問一 留萌の農業を持続させる体制の拡充について

留萌の経済を活性化させる上で、農業を持続させる体制を拡充することは喫緊の課題。行政として、関係団体と連携を強め、既存組織への支援と

わずか三年前の半値となり、「被災地でもないのに、地価下落率日本一」という見出しで留萌のまちがテレビで放映されたが、地価下落率全国一位という不名誉な状況に対し、市長がどのような考えを持っているのか伺いたい。



地価下落率全国一商業地

答一 土地の取引については民間需要がどれだけ高まるかにもよるが、行政が土地取引の価格について関与できない。人口減少や高齢化によって土地の需要が減っていることや、長期的な景気低迷からの回復が遅れていることなどが要因として考えられる。土地取引の指標となる公示価格が下がっていることは、現実として受け止めざるを得ない。

問一 危険な沿岸部の避難対策について

災害時の危険箇所である沿岸部の中でも、塩見町地区は海に面した一車線の国道以外に避難ルートは無く、津波の危険に加え、海沿いには巨大な石油タンクが多数あるが、高台に避難しようにも避難路がなく、住民は不安を抱えている。

留萌市としての、塩見町地区に対する津波対策と火災対策の現状を伺いたい。

答二 津波避難に対してはできるだけ速やかに高台に避難してもらいたい、二十分以内で高台に避難するようにしたい。

塩見町は灯台が避難の目標となるかもしれないが、四本の私道がこれら避難路として位置づけられる予定となっている。

石油基地の対応としては、全国規模で対応されるべきだと考えているので、今後どういう形で設置者が整備をしていくのか全国的な問題となるので、その推移を見ながら判断していく。

笹本 牧司 議員 (萌政会)

問一 防災(減災)について

東日本大震災の教訓を生かして地域防災計画の見直しを行ったが、修正項目とその内容を示してもらいたい。

またハザードマップや海拔表示板等の施策を何時までに行うのかを伺いたい。

答一 地域防災計画については三月に開催した防災会議において、津波対策の強化や避難所の強化及び情報伝達手段の強化等を重点に見直しを行った。

また自主防災組織設置推進にも取り組むこととした。地域防災計画は、北海道の修正に併せ、逐次必要な修正を行って行く。

津波対策の海拔表示板は、八月末までに海岸部や市街地の低地部に合せて二百枚を設置する。

問一 高齢者福祉について

高齢化が急速に進み、認知症の患者や要介護者の急増が予測されるが、認知症予防や介護予防にどのような考えをもって取り組んでいるのかを伺いたい。

また施設の増設についての考えを伺いたい。



健康の駅

答二 地域老人クラブ等を対象とした介護予防教室や健康教室を通じ、食生活や運動等による認知症予防や介護予防に重点を置いている。

また健康の駅を中心としたNPO法人のいこほっとピアの協力を得ながら、調査研究の実態を踏まえ、認知症に対する的確な対策を検討する。また市民に対して認知症についての理解を深める取り組みを進める。

施設増設については、次期の計画で検討する。

村上 均 議員 (留萌公明党)

問一 災害に強いまちづくり

昨年の大震災から一年三ヶ月、被災地域での復興はもとより各地で災害に強いまちづくりの取り組みが進められている。そこで「地域防災計画」の検証から見える課題や見直しの取組を聞きたい。

答一 市が指定する海岸部緊急避難路は、庁内協議を経て、夏期を目途に各町内会と再協議した後、決定する。津波避難ビルは、公共施設を優先に同意を得て随時指定する。見直した内容は、「防災マップ」に反映させ年内に作製し、全戸配布する。

地域防災計画は、北海道の修正に併せ、本年度も必要な修正を行う。

また自主防災組織の共助による「減災」について理解を求め、防災連絡員を中心とする自主防災組織の設置を支援していく。更に弱者を守る施策の要援



礼受牧場風力発電

護者支援システムのデータ入力を入六月〜七月で実施し、「留萌市災害時要援護者支援プラン(全体計画)」を成案化。合わせて個別計画の推進方法を協議し、対応方針を決定後災害時要援護者支援制度及び個別計画の登録について市民周知を図り、災害時における要援護者対策を充実させる。

問一 風力発電の可能性

風力発電の増設に対する可能性の検証と取組について聞きたい。

答二 市内に風力発電施設を十基設置しているエコパワーから、国のエネルギー政策の動きを見ながら、増設の検討を始めているという話を伺っている。今後も情報を共有しながら協力していきたい。

議会活性化委員会からの報告

議会活性化推進特別委員会の中間報告

六月五日開催の本会議において、報告した主な内容は次のとおりである。

一、一部事務組合議会議員の市議会に対する報告(勉強会)を実施する。

二、議決事件の拡大は、総合計画に係る基本計画など、八項目を確認しその都度、議案として取り扱うこととする。

三、お知らせ掲示板の、掲示内容及び方法について、広報特別委員長に委ねることとする。

四、議会基本条例制定は、策定作業チームを立ち上げ、六名のスタッフで行うこととする。

五、専決処分は、その判断を、あらかじめ市長と議長が協議することとする。

6月11日、12日と2日間、部分的ですが傍聴致しました。前回の選挙以来初めてでしたので、会場に入り、女性議員が5人と前回より多いことに、嬉しく感じました。今回の傍聴で感じたことですが、2日間とも質問のテーマが重複していること、会派が違えば、仕方が無いものなのではないでしょうか…… 1年生議員もしっかりと、私達の代弁をしている姿を見て頼もしく感じました。 高齢者が安心して住める街づくりにと、議員の皆さんに、これからも期待しております。

小笠原 タキ工

議会を傍聴して

6月の定例会傍聴は5度目の体験となりましたが、相変わらず傍聴人の少なさを感じた。過去4度の傍聴では、議員の質問に対してチグハグな答弁が多く、じれったい感じで傍聴しておりましたが、今回は議員の質疑の言葉も拡大せずに絞りきっておりました。答弁もぶれることがなく、スッキリとした気分でした。ただ留小改築計画の変更についての答弁は、担当者の算定ミスフォローしただけで、今回のミスが起きた背景を一担当者だけに任せず、今後の改善を望みたい。民間組織でも一職員の上には上司がおり、上司としての職務責任範囲の認識を考えるべきだ。

渡辺 一夫

留萌消防組合議会報告

六月二十一日に、留萌市・小平町組合議員による第一回臨時会が開催されました。今回は一般会計の補正予算として消防施設費「消防緊急デジタル無線基本設計」について減額補正をし、消防施設整備強化のため、災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車II型の動産の取得を可決しました。

留萌南部衛生組合議会報告

六月二十二日に留萌市・小平町・増毛町の組合議員による全員協議会を行い、小平町と増毛町に建設中の生ごみ処理施設と最終処分場の視察を行いました。豪雪



小平町 生ごみ処理施設



増毛町 最終処分場

のため工事の遅れが心配されていましたが、工事の進捗率となり視察参加者から安心の声も上がっていました。またその後、協議会内部で、今後の生ごみ処理について協議を行いました。

議会活性化推進特別委員会から

今までは広報を作成し、読んで頂くことを一番に考えながら議会で議論されたことを中心にお届けしてきました。

今回、議会活性化推進特別委員会の論議の中から広報特別委員会に新たな取り組みの一環として「議会お知らせ掲示板」の周知と広報というテーマが生まれてきました。今回のアンケート調査を経て周知不足を痛感し、市民の皆様に見て頂き興味を持ってもらえる環境作りの大切さを実感いたしました。

これからの改革の歩みを進めて行く度に皆様に議会をより深く知ってもらえるように広報のあり方を考えて参ります。

- 委員長 菅原千鶴子
副委員長 鶴城 雪子
委員 燕 昌克
川口 宏和
天谷 孝行